

技が輝く

杞柳産業からかばん産業へ

兵庫県北部の豊岡地方は、かつてまちの中央を貫く円山川に自生するコリヤナギを用いた杞柳産業が栄え、「豊岡の柳行李」は全国にその名を馳せました。明治以降、人々の生活様式が変化する中で、柳行李の販売網と縫製技術を生かしたかばん産業への変換を図り、高度成長期には国内でも有数のかばん産地として発展してきました。

地域ブランドの確立

近年、安価な輸入品の流入や不景気による買い控えなどの厳しい状況が続いていますが、平成十八年度には特許庁が登録査定する地名と商品・サービス名を組み合わせた商標登録制度に申請。地域ブランド「豊岡鞆」は兵庫県の中で第一号の登録になりました。

安心して使ってもらえる

ようにと、「豊岡鞆」地域ブランド委員会が厳しい品質基準に基づき認定審査し、合格した製品のみが豊岡鞆として商品化されるという品質保証のシステムを構築しています。

また、首都圏での展

示会の開催や、大手メーカーの下請受注脱却を図り独自ブランドを立ち上げるなど、積極的な事業展開を行っています。

縫製作業

美しい曲線も微妙な手加減一つ。熟練工の腕が光る作業



こだわりの豊岡鞆

豊岡鞆の特徴は、熟練した職人による入念な仕事、持つ人を美しく見せる優雅さ、時とともに深まる味わいや永く使われる普遍性を備えたデザインなどにあります。

多様化するニーズに応え、オーダーメイドやセミオーダーの可能な工房も増えていきます。製作風景を見学しながら、オリジナルの鞆を考案してみたいかがでしょうか。

工房のほかに、鞆の自動販売機や三百六十五通りの誕生日トートバッグ

首都圏や関西の百貨店で人気を集めている独自ブランドも



グが購入できるカバンストリートなど、古くて新しいカバンファクトリーのみち・豊岡なら、お探しの鞆がきつと見つかるはず。

お問い合わせ

兵庫県鞆工業組合

TEL 〇七九六―二三―七八三三

HP

<http://www.toyooka-kaban.jp/>



ハンドル（握り手）の縫製
「握手したときのように」そんな感触の握り手を求めて作るのが職人の技

兵庫県

豊岡鞆

